

IV. 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会の記録

平成24年度 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会について

1 目的

愛知県埋蔵文化財センターの発掘調査により出土した資料を広く公開し、また、学術経験者による講演会を開催することによって、県民の埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、郷土に残された先人の歴史を考え、文化財保護意識の向上を図る。

2 主催

愛知県陶磁資料館

(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

愛知県公立大学法人 愛知県立大学

愛知県教育委員会

中日新聞社

3 後援

愛知高速交通株式会社

4 埋蔵文化財展

1) 会場

愛知県陶磁資料館 本館 第1展示室・第2展示室・特別展示室

2) 会期

平成24年7月28日(土)～9月30日(日)

3) 展覧会名

「戦国のあいち

—信長の見た城館・陶磁・世界—

4) 開催趣旨

本展では、歴史文化の調査研究に携わる愛知県の諸機関が連携して、戦国時代の愛知県域について探求・紹介する。信長登場とその前後の時期に焦点をあて、尾張国の中核的な城館とマチ、やぎもの、ヨーロッパの宣教師たちが見た愛知県域の姿などを通じて、戦国時代の人びとの暮らし・モノづくり・世界との関わりを紹介する。

この他に、特集陳列I「東海最大の弥生集



ちらし表



ちらし裏

落一朝日遺跡の至宝」では、本年新たに重要文化財に指定された朝日遺跡(清須市ほか)出土品等によって、弥生土器の造形美を展示紹介し、また、特集陳列2「愛知県埋蔵文化財センター発掘調査の風景」では、同センターの20年以上にわたる調査・研究活動の軌跡を、遺跡調査の写真パネルによってたどる。

5) 展示構成

(1) 信長を生んだ戦国尾張

ー発掘された尾張守護所ー

戦国期尾張の政治的拠点の変遷を、遺跡出土の陶磁器・金属製品・木製品など約250点を通じて解説した。

A 下津(寺院の痕跡・宿のにぎわい・武家儀礼) 下津宿遺跡出土遺物

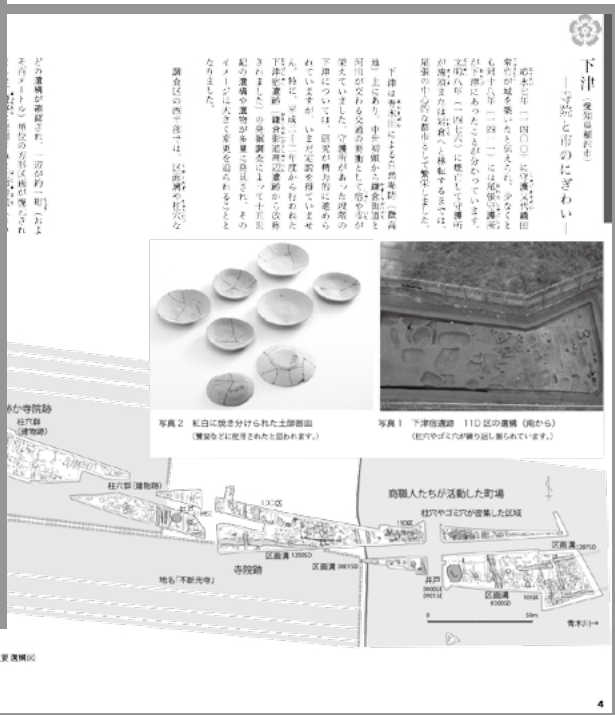
B 清須(居館と武家屋敷・武家儀礼・祈り・流通の拠点・鍛冶屋町) 清洲城下町遺跡出土遺物

C 岩倉(居館と武家屋敷・武家儀礼・祈り)



リーフレット表紙

リーフレット p14



リーフレット p4-5

岩倉城遺跡出土遺物

D 小牧(町屋の生活・鍛冶屋町・近世的城郭)

小牧山城跡・上御園遺跡・新町遺跡出土
遺物

E 再び清須(短冊型地割の町屋・近世的城
郭・天正地震) 清洲城下町遺跡出土遺物

(2)「戦国陶磁」を探る

ー「中世」と「桃山」のはざ間ー

戦国期の日本列島における陶磁の全体像
を窯跡出土陶磁約100点と伝世陶磁約30点
を用いて明らかにした。

A 戦国瀬戸の陶器生産ー瀬戸市品野地区
桑下地点ー(窯と工房・窯と城・“知られ
ざる”瀬戸戦国陶器) 桑下東窯跡・桑下城
跡・上品野西金地遺跡出土遺物

B 戦国的陶磁様式ー経済と文化、世界と地
域ー(大陸陶磁の流通・列島陶磁の複合
的生産と流通・列島陶磁文化の展開)

C 戦国陶磁の鑑賞ー戦国期から現代へー
施釉陶器・焼締陶器の大形甕・壺

(3) 大航海時代の戦国あいち

ー16世紀前後の日欧史料からー

戦国期前後の日本とヨーロッパの関係を
屏風・絵図ほか各種史料約20点で描いた。

A 戦国あいちの世界認識(中世的世界認
識・可能性の時代・近世的世界認識)

B 海でつながる都市(名古屋、リスボン・
アムステルダム)

C 南蛮人が見た戦国あいち(宣教師の目・
商人の目)

(4) 特集陳列I 東海最大の弥生集落

ー朝日遺跡の至宝

平成24年に新たに重要文化財に指定され
た出土品を含む、弥生時代の土器。約30点を
展示した。

A 赤い土器の世界(赤彩土器の各器種)

B 謎の円窓付土器(円窓付土器)

C 弥生土器の造形(弥生時代中期の壺形土器
など)

D 小さなやきもの(鳥形土製品・ミニチュア



展示 信長を生んだ戦国尾張



展示 信長を生んだ戦国尾張(かわらけ)



展示 信長を生んだ戦国尾張(石垣の土台木)



展示 愛知県埋蔵文化財センター発掘調査の風景



オープニングセレモニー



埋蔵文化財講演会



展示会風景



埋蔵文化財講演会



展示会風景



埋蔵文化財講座



展示会風景



埋蔵文化財講座(展示解説)

土器など)

(5) 特集陳列2

愛知県埋蔵文化財センター発掘調査の風景
愛知県埋蔵文化財センターが発掘調査した
主な遺跡の写真展。

5 埋蔵文化財講演会

- 1) 会場 愛知県陶磁資料館 本館 講堂
- 2) 会期 平成24年9月9日(日)
午後1時30分～3時30分
- 3) 講師 仁木 宏(大阪市立大学教授)
- 4) 演題 「戦国尾張の城と町
—安土への道、大坂への道—」

6 関連事業

- 1) 埋蔵文化財講座「発掘された尾張守護所」
 - (1) 会場: 愛知県陶磁資料館
本館 講堂・第1展示室
 - (2) 日時: 平成24年7月29日(日)
午後1時30分～3時30分
 - (3) 講師: 鈴木正貴
* 講堂での講義の後、展示室で「信長を
生んだ戦国尾張」の展示解説を行った。
- 2) 考古学セミナー「あいちの考古学2012」
* 詳細は後述。
- 3) あいち学セミナー
「大航海時代の戦国あいち」
 - (1) 会場: 愛知県陶磁資料館 本館 講堂
 - (2) 日時: 平成24年8月26日(日)
午後1時30分～午後4時
 - (3) 講師・総括: 服部光真(愛知県立大学大学
院生・日本中世史)・大塚英二(愛知県立
大学教授・日本近世史)・山村亜希(愛
知県立大学准教授・歴史地理学)・アナ
・ガルシア(東京大学准教授・中南米ス
ペイン語学)・上川通夫(愛知県立大学
教授・日本中世史)
* 共同研究の成果を報告。

4) 日替わり展示解説

- (1) 会場: 愛知県陶磁資料館 本館
第1展示室・第2展示室・特別展示室

(2) 日時: 各回とも午後1時30分から約30分

- A 平成24年8月 5 日(日) 第1展示室「大
航海時代の戦国あいち」 川畑博昭(愛
知県立大学准教授)
- B 平成24年8月12日(日) 特別展示室「朝
日遺跡の至宝」 原田 幹(愛知県教育委
員会主査)
- C 平成24年9月 2 日(日) 第1展示室「戦
国陶磁を語る」 小川裕紀(愛知県陶磁
資料館学芸員)
- D 平成24年9月23日(日) 第2展示室戦国
陶磁の鑑賞」 小川裕紀

5) 日替わり考古学ワークショップ

- (1) 会場: 愛知県陶磁資料館 本館
特別展示室入口前
- (2) 日時: 午前10時～正午、午後1時～3時
- (3) 講師: 愛知県埋蔵文化財センター職員・
愛知県埋蔵文化財調査センター職員・愛
知県教育委員会文化財保護室職員
- (4) 内容:
 - A 平成24年7月29日(日)
「骨のペンダントを作ろう」
 - B 平成24年8月 5 日(日)
「岩倉城の獅子頭を作ってみよう」
 - C 平成24年8月12日(日)
「弥生土器の拓本をとろう」
 - D 平成24年8月19日(日)
「かわいい水滴つくってみましょう!」
 - E 平成24年8月26日(日)
「あなたも私も同じ仲間!」
古墳時代のフェイス・ペインティング」

6) 愛知県立芸術大学学生による

ロビーコンサート

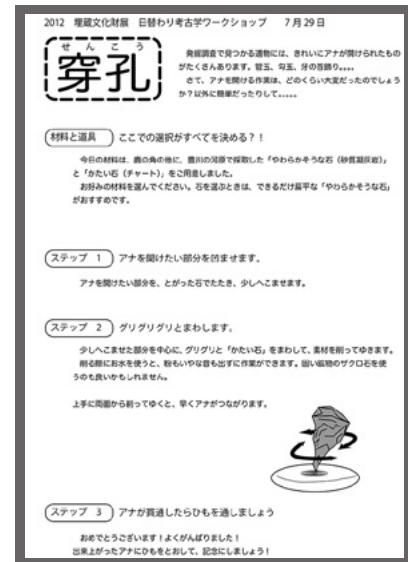
- (1) 会場: 愛知県陶磁資料館
本館 玄関ロビー
- (2) 日時: 各回とも12時15分開演、約1時間
- (3) 協力: 愛知県立芸術大学
芸術創造センター
- (4) 内容:
 - A 平成24年8月19日(日)
コントラバス四重奏
 - B 平成24年9月16日(日) 弦楽四重奏



日替わり考古学ワークショップ
「岩倉城の獅子頭を作ってみよう」



日替わり考古学ワークショップ
「骨のペンダントを作ろう」



日替わり考古学ワークショップ
「あなたも私も同じ仲間!?
古墳時代のフェイス・ペインティング」



考古学セミナー「あいちの考古学2012」の開催

愛知県内外には、県教育委員会、市町村教育委員会、財団法人、大学、特定非営利活動法人(NPO)、民間調査組織、遺跡調査会、その他研究グループ、同好会、ボランティア団体等といった発掘調査などを実施する考古学関係団体が活動している。今回、これらの団体が一同に会して近年の調査研究の成果を、プレゼンテーション・映像放映、基幹報告・セッション、ポスターセッションなどを通じて広く一般県民に公開し、団体間で情報を共有することをコンセプトとして、考古学セミナー「あいちの考古学2012」を開催した。

主催：愛知県埋蔵文化財センター

愛知県陶磁資料館

日時：平成24年9月30日(日)

午前10時から午後4時

場所：愛知県陶磁資料館

本館講堂と講堂ロビー

<<内容>>

10:00 開会

10:10～10:25

愛知県名古屋市玉ノ井遺跡の発掘調査
について

長崎千明(名古屋市見晴台考古資料館)

10:25～10:40

豊橋市内田貝塚の発掘調査

松本泰典(豊橋市教育委員会)

10:40～10:55

畑間遺跡・東畑遺跡の発掘調査

宮澤浩司(東海市教育委員会)

10:55～11:10

堂外戸遺跡の発掘調査成果

森 泰通(豊田市教育委員会)

11:10～11:25

能田旭古墳第4・5次調査の成果

伊藤明良(北名古屋市教育委員会)

11:25～11:40

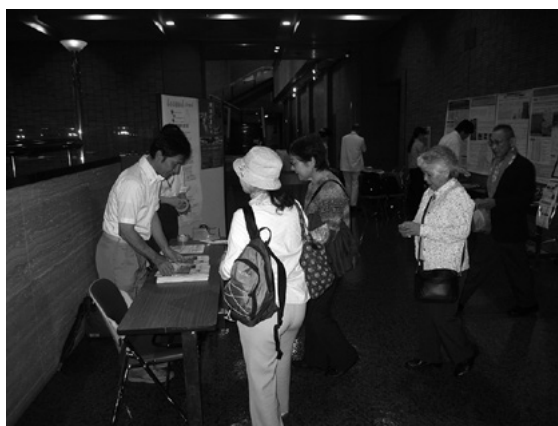
平成23年度普門寺旧境内確認調査の概要

村上 昇(豊橋市教育委員会)

11:40～11:55

小牧山城跡の発掘調査について

小野友記子(小牧市教育委員会)



会場受付



プレゼンテーション



プレゼンテーション

11:55～12:10

清洲城下町遺跡の発掘調査

西野順二(国際文化財株式会社)

13:00～13:15

酸素同位体比を用いた年輪年代法

中塚 武(名古屋大学)

13:15～13:30

美濃国における古代寺院とその展開

小林新平(名古屋大学)

13:30～13:45

豊田市域遺跡詳細分布調査の成果と課題

廣瀬正嗣(南山大学)

13:45～14:00

田原市宮西遺跡の発掘調査について

安井 充(愛知学院大学)

14:15～14:30

丹後国製塩遺跡と海部氏

山崎し央倫(三重大学)

14:30～14:45

岡崎市西牧野遺跡の調査

成瀬友弘(愛知県埋蔵文化財調査センター)

14:45～15:00

文化遺産カード事業について

中島和哉

(NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク)

15:00～15:15

膠(にかわ)による文化財修復への活用

岩月真由子(文化財保存修復学会会員)

15:20～16:00

セッション「塔の越遺跡と尾張国府」

石黒立人・永井邦仁・早野浩二(愛知県埋蔵文化財センター)・北條猷示(稲沢市教育委員会)

<<ポスターセッション>>

○「歴史の里」構想と志段味古墳群の調査

名古屋市教育委員会

○森浩一文庫と春日井シンポジウム

春日井市教育委員会(民俗考古展示室)

○畑間遺跡・東畑遺跡の発掘調査の成果

東海市教育委員会



ポスターセッション会場



ポスターセッション会場



ポスターセッション



ポスターセッション

○稲沢文化財愛護少年団の活動

稲沢文化財愛護少年団

○文化遺産のみえる街づくり事業

NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク

○¹⁴Cウィグルマッチングによる年代測定

株式会社パレオラボ

○写測くん+俯瞰撮影システム

・遺構くんB・遺物くん

株式会社CUBIC

○調査事例報告・土色注記入カシステム

株式会社二友組

○その他

愛知県埋蔵文化財センター・愛知県埋蔵文化財調査センター・瀬戸市埋蔵文化財センター・国際文化財株式会社

<<参加・協力団体>>

愛知県陶磁資料館、愛知県教育委員会・愛知県埋蔵文化財調査センター、愛知県史編さん室、名古屋市教育委員会・名古屋市見晴台考古資料館、春日井市教育委員会、稲沢市教育委員会・稲沢文化財愛護少年団、東海市教育委員会、豊橋市教育委員会、福井県美浜町教育委員会、公益財団法人

愛知県教育・スポーツ振興財団、愛知県埋蔵文化財センター、公益財団法人瀬戸市文化振興財団瀬戸市埋蔵文化財センター、NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク、名古屋大学、南山大学、愛知学院大学、三重大学、岩月真由子、株式会社CUBIC、株式会社二友組、ナカシャクリエイト株式会社、国際文化財株式会社、株式会社パレオ・ラボ、考古学フォーラム

<<参加者 250名>>

今年度初めて実施した考古学セミナーは、県内外の考古学関係機関、団体と一般参加者が一同に会する機会を設けることを目的としたもので、当日は台風17号の接近にもかかわらず、県内外から約250名の参加者があった。全体としても好意的な意見が多く、来年度以降の開催を望む声が多かった。反省点としては、プレゼンテーションなどの内容が調査報告に偏りがちで少し単調であったこと、休憩時間が短くポスターセッションに十分に参加することができなかったこと等がある。次年度以降もより多様で興味深い内容を提供できるように、各関係機関と協力を諮りたい。(早野浩二)



セッション風景



セッション風景